

- ✓ バリアフリー建材カタログVol.22 発刊します！
- ✓ 写真大募集 結果発表！
- ✓ H.C.R.2024 出展します！
- ✓ 作業療法士からみた住宅改修
- ✓ 建築から見るデザイン紀行 etc...

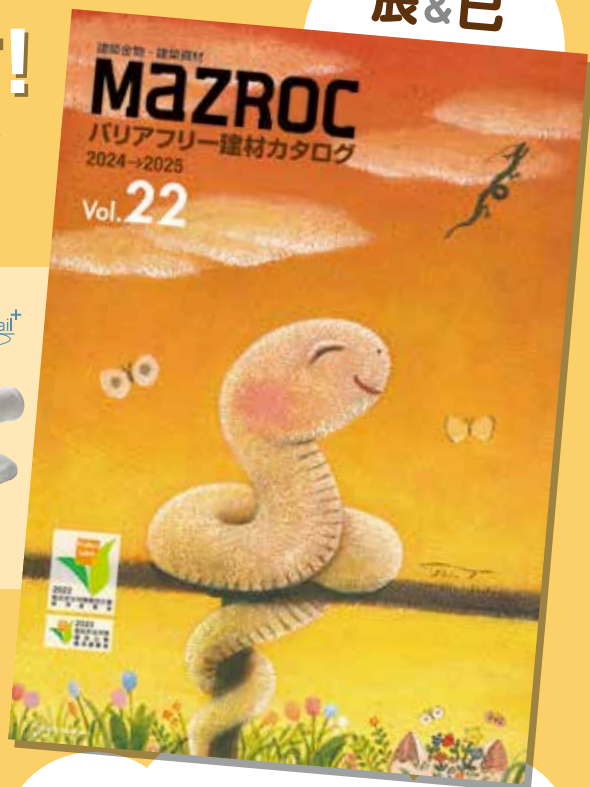
バリアフリー建材カタログ 2024→2025

Vol.22 発刊します！

※発刊は10月1日を予定しています。

新商品も多数掲載！

今年の表紙は
辰&巳



今号も絵本作家のたなかしん先生に表紙を描き下ろしていただきました。今年と来年の干支は「辰(たつ)」と「巳(みへび)」。夕陽がきれいなお花畑で、へびさんが飛び立つ龍を笑顔で眺めています。おや、お花畑の中からお耳がぴょこんと見えているのは…？バリアフリー建材カタログ恒例となった「まるで絵本のような表紙」を、今回もぜひお楽しみください！

設置例 施工例 **第7弾!**

写真大募集 結果発表!!

多数のご応募をいただきありがとうございました。厳正な審査の結果、各賞が決定しました。

結果は右記からご覧ください。※9月上旬公開予定
<https://event.mazroc.com/bosyu/20240301>

結果はこちら

NCA 国際福祉機器展 H.C.R.2024

出展します！

10月2日(水)～4日(金)まで
10:00～17:00 東京ビッグサイト
(最終日は16:00まで) 東展示ホール

小間番号 東3ホール 3-19-02

Web展も開催! 9月2日(水)～11月1日(金)まで
H.C.R.2024Webサイト 特設サイト内

※イメージ



転倒を防止する生活環境での 注目すべきポイント

環境調整することで転倒を予防することが可能になります。今回は転倒の可能性のある箇所のポイントを確認していきたいと思います。

自立歩行が可能な高齢者を対象とした、転倒を予防するために行われている転倒予防セルフケア行動の調査では、非転倒群に比べ転倒群では「部屋を片付けて床に物を置かないようにする」の実施率が優位に低かった。更に、転倒群では非転倒群に比べ、「夜間の足元を明るくする照明の設置」、「転倒予防で杖・シルバーカーの使用」、「階段昇降で手すりを使用する」の実施率が優位に多かったとしている。

転倒すると再度の転倒を予防するために足元灯の設置、杖・シルバーカー・階段での手すりの使用などの行動を取るとしています。更に、転倒する前に自宅内の転倒を誘発する場所などを専門家と確認する必要があるとしています。

「高齢者の転倒を防ぐ住環境の整備と、その支援」において、転倒を防止する環境の確認方法を示しています。ここでは家の中で確認する場所をいくつか紹介していきたいと思います。

【敷居などの段差の見分けにくさに注目する】

木造住宅では木材が経年経過で濃く変色し、高齢期の視機能の低下により判別ができにくくなります。段差がないと思って足を出し、つまずきの原因になってしまいます。

【夜間の照明の位置に注目する】

夜間は暗くなるので、照明を使用しての移動等になります。照明の位置が体の後ろ側になる場所では、足元が暗くなってしまいます(図1)。その際に、床や段差が確認できず、つまずきの原因になってしまいます。

【コンセントやコードの位置に注目する】

電化製品や介護用品は生活をするうえで欠かせないものとなっています。それらのコードが生活動線と重なることで、つまずきの原因になってします。

これらの注目する場所で転倒の原因があるようでしたら、環境を変えていきましょう。ご自身で対処できない場合は、専門家の支援が必要になってくると思います。

普段から困ったことなどの相談ができる専門家を見つけておくことが大切な要素かも知れません。



図1) 背後の照明が足元を暗くする

参考文献

- 1) 内山昌代、鈴木みずえ、金盛琢也: 地域在住高齢者の転倒予防セルフケア行動の実態・因子構造・関連要因、日本転倒予防学会誌、10(1)、2024
- 2) 橋本美芽: 高齢者の転倒を防ぐ住環境の整備と、その支援、コミュニティケア、25(5)、56-60、2023

建築から見る

デザイン紀行 3

～過去から現在そして未来へ～



Salone del mobile 2024 -part2-
(イタリア・ミラノ)

世界三大家具見本市の中でも最大規模を誇るミラノサローネ。2024年の訪問記録をテーマ別に本コラムで紹介していきます。

今回のテーマは、素材研究。



全世界が環境配慮を意識する中、モノを生み出す我々の責任はできるだけ地球に負荷をかけないこと。製品に使用する素材も、自然素材や再生材の活用がスタンダードになっています。

今回訪問で感じたのは、世界トップレベルの家具メーカーや工房は、素材研究もトップレベルであるということ。素材の特性を熟知し、素材にあった加工を施し、素材がもつ魅力を最大限に表現していました。まさに適材適所であると感じました。環境配慮の素材こそが未来資源であるという、素材の概念を超越した魅力と驚きがそこにはありました。



素材研究の重要性を深く感じた訪問でした。



未来を変える一歩を
いっしょに。

たよれールシリーズ

MOTOE
モトエプロジェクト

地球に優しい福祉用具の
サーキュラーエコノミー。



福祉住環境
コーディネーター 道
の答えは④福祉ホーム

マツ六公式SNS
更新中!



Instagram ▶ @mazrocofficial
X ▶ @mazrocofficial1

Facebook ▶ facebook.com/mazroc/
YouTube ▶ @mazrocsho

発行元: マツ六株式会社

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 (代表) FAX 06-6774-2248

<https://www.mazroc.co.jp/>

MAZROC 2409-1

